

災害食レスキュー1149 (いいしょく)

○設立 2015年9月 ○会員数 3名

○設立趣旨・目的

巨大地震に「備え」て災害食の見直し「災害対策は食糧計画」「災害弱者を一人でも多く救いたい!」災害弱者は自助を迫られています。

災害弱者当事者による火のでない安全調理のノウハウ普及



野菜不足解消
山野草のてんぷら

災害食

- ・UD 防災食-火のでない調理器で「体の中から温まる食」
- ・田中式災害食懐石-白湯の健康法他
- ・コンロと鍋で炊飯訓練-「お産すびづくり」
- ・食べられる山野草のてんぷら・温野菜(野菜不足防止)
- ・栄養プロテイン・栄養スープ・フリーズドライ訓練「災害食にチャレンジ」栄養士会との連携



災害食インストラクター養成講座

レスキュー

車イスで階段避難訓練



子どもでもラクラク移動♪

高齢者・障がい者・けが人の避難、搬送、支援物資給水タンク、「自炊5点セット」等リヤカーの代わりに活躍



JINRIKI

JDR-DST活動

〈Japan Dietetic Rescue-Disaster Support Team〉

- ・次世代自動車(電源車)、次世代調理器(災害コンロ)、JINRIKIで災害弱者の食生活支援活動
- 〈避難所としての車中泊・車内調理〉
- ・災害食インストラクターの育成、災害弱者当事者団体自助活動
- まず、自分が助かる術を学ぶ、家族を助け、地域を助けます。
- ・災害サルパ「つくる訓練・食べる訓練」の開催「定期イベント」
- 冷蔵庫の残り物、身近なものでの災害食づくり(食物ロス対策)



「実践野外訓練」
電気自動車+災害コンロ調理

○PR等

障がい者は避難所・災害食・トイレなどにバリアがあり、備蓄も自助を迫られています。JDR-DST活動で自助学習/ノウハウを普及します。

「てとり」お買い物チャリティ登録団体、日本財団CANPAN登録団体です。

代表者 田中 廣

住所 〒680-0845

鳥取市古海798-1

デザインオフィスM内

問い合わせ

電話 080-6337-0046(前田)

FAX 0857-22-0401

Eメール sakaemaeta@live.jp